

里山だより

Hashimoto Satoyama Conservation Action-team

第37号 2006.4.10

はしもと里山保全アクションチーム

(事務局) 〒648-0003

橋本市隅田町山内 1017

中岡 準方

Tel&Fax 0736-36-1358

<http://homepage1.nifty.com/actsatoyama/>



こうのと
来るを夢見て
冬耕す

2006年2月～2006年3月の活動報告

◎ 定例 2月19日(日) 曇り 【場所】芋谷棚田

【主な内容】畦シート入れ 【活動責任者】中岡 【食事担当者】別所

【活動記録】 【記録者】佐藤

9:00 集合 分担して荷物を下まで運ぶ

9:30 ミーティング 棚田の持ち主である大西正一さんの紹介

今日の作業予定打ち合わせ(上の田は荒起こし、下の田は①畦シートをはずし②溝切り③畦シートの設置④土で押さえ、「かけや」で叩き、さらに足で押さえ込む)

総がかりで溝切り作業。(ロープで線出しをして一直線に土を掘り起こす。外側に向けてやや勾配をつけ、面を正確に削り出す。)

12:00 昼食休憩 豚汁(しいたけは別所さん、サトイモはアクション芋谷産)各自持参した弁当やおにぎりを食べ、おやつにはバレンタインデーのチョコレートのおすそ分けなど

2:30 下の田の畦シート敷きが完了し、上の田の畦シートはずしと、畦切り作業にかかる。

上の畦シートは厚手のものを新しく調達するため、作業は途中で終了させ、次回に継続
道具類を上まで運び、クラブハウスへ搬送、終了・解散

<参加者>井奥、石川、梅谷正、木村、佐藤、堤原、中岡、中矢、別所、前田、南、柳本、山合、山岸、山中 計15名



北村道夫 作



見事な直線を描いて、畦シートが入りました。いよいよ春の作業が始まります。このあと、代掻き→水抜き→粃の直播。アクションの棚田は、米作りの重労働をできるだけ軽減するために「不耕起栽培」の実験を行っています。今年度は、今後の基礎作りのために、耕耘機を使って軽く耕起し、代掻きを行うことにしました。

☆感想☆

2月例会に参加して

山岸 清子

以前から田舎に興味がありました。知識や経験も無く参加方法も解からず、いたところ、中矢さんからお話を聞き、そしてお誘いを受け2月の例会に体験参加させて頂きました。

初めての私に気さくに優しく声をかけてくださり、すっかり溶け込む事が出来ました。

鍬やスコップを使って土を掘り起こすという作業は、子供の頃以来の事で少し腰が痛くなりましたが、足手まといになるのではと思いつつも楽しく体験させていただきました。

お昼の豚汁も大変美味しくお替りまでしてしまいました。

年齢も職業も違うメンバーの方々のお話を楽しく聞かせて頂き、私にも出来るかな？と少し自信が持て、とても充実した一日でした。

帰りには、里芋や大根のお土産まで頂きありがとうございました。

もう次回が待ち遠しく思いました。これからも宜しくお願いいたします。



△イベント 3月5日(土) 【主な内容】環境フォーラム(田辺市)に出席(ビッグU)

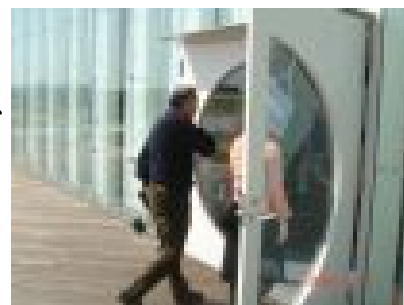
【記録】

(宮脇氏の講演の概要、参加者の感想などは3・6ページに)

- ・午前9時 車1台に同乗し橋本市出発、別所さん出題のクイズを楽しみながらロングドライブ
- ・12時30分田辺市到着、昼食後ビッグUに到着、

「ストップ温暖化～熊野の森から環境の世紀を考える～」 宮脇 昭氏の講演に出席

- ・講演終了後、白浜「とれとれ市場」でショッピング
- ・温泉(かんばの宿紀伊田辺)に寄り、入浴・休養。帰路は山中さんが運転。車内ではビール、お酒、おつまみにウイスキーまで登場し、「宴会」で盛り上がる。(山中さんの運転ご苦労様でした)
- ・午後9時過ぎに高野口町「よなきや」でラーメンを食べて、橋本市到着。解散



<参加者>石川、北村道、佐藤、中岡、別所、真壁、山中 計7名

<講演の感想>

別所 邦博

何処の町に行っても必ず在るのが神社であり、規模の大小はあるものの、まるで約束事のように其処には鎮守の森がある。樹齢何百年という大木も多く、中には千年以上の古木も存在する。

森を構成するのは、その地方の気候風土に適した樹木達であり、その場所が最適である事の何よりの証拠なのだ。里山は、雨を蓄えた後、徐々に浄らかな水として流す。その山には潜在自然植生に合った木が自生している。我々「アクションチーム」も、もう一度周囲の自然林を観察・植生調査して今後の活動の参考としたいと思った。

今回の田辺への小旅行は講演以外にも楽しい事が盛り沢山で帰りの車中では大宴会となり、機会を作って又行きたいネと意気投合した次第であった。皆さん有難う御座いました。

△イベント 3月11日(土) 快晴 【主な内容】第2回 環境フォーラム参加(かつらぎ町アジサイホール前駐車場で) 【活動責任者】中岡 【記録者】佐藤

(前日) 7名のメンバーがクラブハウスに集合し出展の準備(黒米の選別・袋詰め、さつま芋の調達、パネル用のボードの購入等)

(当日) 8:30 イベント会場に集合 机の設置、パネル貼付、焼き芋の準備、黒米などの販売の準備

10:00 開会式(中岡氏がイベント全体を代表して挨拶)

※ 会場の中央ではクラフト教室が行われ、アクションチームは棕櫚の葉でのバッタ作りや、たらよの葉に竹のクシで「手紙」に見立てて文字を書く指導等を行いました)

※ テント前での本格的な焼き芋の人気はすごいもので、常に来客があり、飛ぶように売れ、午後早々に店じまいとなりました

※ 黒米、稲穂(赤米)、草花のしおりなども、販売は好調

4:00 片付け開始 終了・撤収・解散

☆感想☆

中西 正和

みなさま、環境フォーラムではご苦労さまでした。木村さんの作られた名札は、サポーターの気分が出て?なかなか良かったです。私は会場で出会った久しぶりの方や珍客の応対に忙しくてあまり働きませんでしたが、おかげさまであれだけの焼イモが、午前中にほぼ完売近い盛況ぶり。今年はもっと芋谷の名に相応しく、サツマイモを作ろうではありませんか、、、。(^^ゞ



<参加者>石川、梅谷正、梅谷美、北村、木村、佐藤、殿谷、中岡、中西、中矢、別所、真壁、山合、吉田

計14名

◎定例 3月19日(日) 曇り・雪 【場所】芋谷棚田 【主な内容】畦シート設置(上の田)

【活動責任者】中岡

【食事担当者】真壁

【記録者】佐藤

【活動記録】

9:00 下まで荷物運び 上の田の畦シート設置作業開始

10:45 ミーティング

今日の作業 ①上の田は畦シート設置と荒起こし
②下の田は荒起こしをして代掻き

11:00 作業開始

12:30 昼食 酒かす入り三平汁(真壁オリジナル)

ふきのとうをのせて春の香りを楽しみました

石川さん持参の「泡盛(大琉球国)」に舌づつみ。

2:00 作業開始 ①上へ通じる川べりの小道の拡張のため
石垣組み ②下の田の荒起こしと代掻き ③上の田
の入水路付近に小さな池づくり(年間湛水に合わせて、ビ
オトープづくりの実験、井奥さんの提案による)

3:00 作業終了 ミーティング(解散)

3:15 有志数名が残って、代掻き作業と水張りを行う

4:30 終了、解散

<参加者>井奥、石川、梅谷正・美、北村道、木村、小林、佐藤、
辻野哲・澄、戸田、中岡、中矢、前田、真壁、町野、
松田、南、柳本、山岸 計20名



☆感想☆

2回目の活動参加

辻野 哲

「今日は雨でもやるらしいよ」と家内の声に起こされて8時に金剛の家を出る。「芋谷」に着くころはうす陽が差すまじまじの天気。当日のメイン作業は田んぼのあぜ作り。すみきた冷たい空気の中での汗かき作業。時間のたつのも早く、もう昼である。

時々段々畑に咲く白梅の花びらかと想わせる雪が舞い散る中でのあついカス汁。最高でした。

そばを流れる谷川からの水で満たされた田んぼは生命を吹き込まれ、冬眠から目覚めた生き物のように感じた。作業の合間に採ったクレソン、ふきのとうの里山のめぐみをおみやげに心地よい疲れと共に帰路に着いた。里山バンザイ。

道を広げるため、石垣を組むのは重労働

全体が水平になるまで代掻きをします



第2回里山まつり 報告 井奥 恵三

お天気に恵まれた3月5日、当地、橋本市の郷土の森では第2回里山まつりが開かれました。木下市長はじめ、大勢の参加者があり、たいへん有意義な1日でした。アクションチームからは、代表の柳本さん、木村さん、南さんと私が手伝わせていただきました。柳本さんからは、「パーゴラ」を2セット頂き、夕方設置しました。トンボ池の横に藤棚ができ夏が楽しみです。

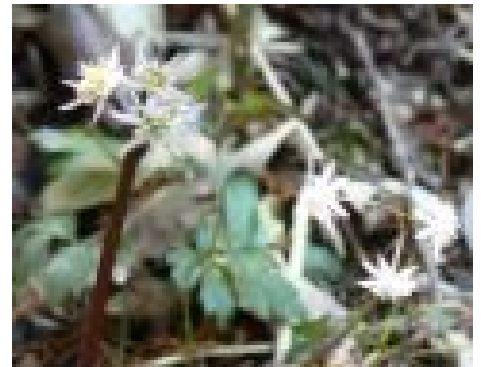
シイタケのホダ木作り、木工教室、草木染教室、パン作りと大勢の子供達が参加してたいへん盛況でした。冬の間、倒木の処理をしたのが生きてきました。子供達やお母さん方も熱心に作業され、お土産にホダ木を持ち帰られ、みなさんたいへん喜んでおられました。（1本150円ですがよく売れました）。里山まつりでは、午前と午後 自然観察会も開催し、私と柳本さんは里山の魅力の案内をさせていただきました。



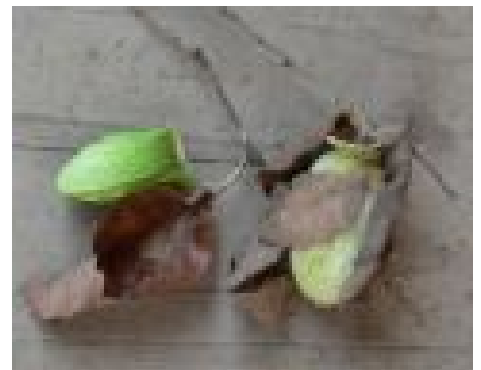
3月4日、芋谷では地元の人が、コナラの伐採をしていました。里山を利用することが保全活動につながります。演習林の下草刈りや残っている倒木の処理も是非進めたいものです。

芋谷では、冬を成虫で過ごした「テングチョウ」や「キタテハ」もさかんに飛び回りだしました。越冬した蝶は、コナラの枯葉の中に溶け込んでいますが、日を浴びると羽を広げて飛び回ります。

キタテハは秋型でオレンジ色ですがなかなかきれいな蝶で、探せばいろいろ見つかる楽しい季節です。



セリバオウレンの花 2006.3.4



ウスタビガの繭

早春だより

手入れが行き届いた早春の里山は、昆虫も植物もいろいろ珍しいものに出会えます。葉を落としたコナラの森では「ヤママユ」もたくさん見つけられます。ヤママユは、かつては天蚕としておいに役に立ったようです。ひとつは「スカシダワラ」（右）クスサンのマユです。かいこのお腹から取り出した「テグス」は鳴門や明石のタイ釣りを支えた貴重な蚕です。（クスノキだけでなく、クリやコナラも食草にしています）もう一つは「ヤマカマス」（上）ウスタビガのマユです。マユは黄緑色の美しい色で、魅力的なマユです。クスノギやコナラの林には今もたくさん住んでいます。早春の里山は、鳥好きや虫好きにはたいへん魅力的な所です。



井奥 恵三

第2回「環境フォーラム in 田辺」 宮脇昭氏講演の感想

現場に立って自らの目と感覚で確かめ、自分の体を動かしながら思考研究し続けている老学者の迫力には圧倒されっぱなしであった。植樹の技術でも、教えられるところが多々あった。その土地で何万年も生きてきた本来の樹での森作りの必要性を十分に納得できた。今の日本にはそれが残されているのは鎮守の森などで約0.02%とか。自然植生を回復する取組みの必要を痛感した。

反面、農耕を始めた我々の祖先は、集落の周りの自然の森を切り開いて、生産や生活に必要な森を育ててきた。里山と呼ばれるこれらの山林も、長い時間をかけて日本の自然と歴史とに育てられてきた、日本人にとってはかけがえの無い森である。さらに、輸入材が激減する将来を見据えたとき、スギ・ヒノキなどの造林山も絶対に必要であり、日本には長い実績と技術もある。

大雑把に分けてみたこれら3つの森は、相対立矛盾するものでは決してなく、十分に共存・住み分けのきくものであると思う（原生林を切り払い、里山を潰して、不適切な土地にさえしやにむにスギ・ヒノキを植え、その後それを放置した戦後の林業政策の失敗が、いま問われている）。

そのなかで、我がアクションチームが主として関わるのは、雑木山・混交林・その山麓一帯をも含んだ「里山」であり、それは日本人のこころの「ふるさと」でもある。

（中岡 準）



3月5日田辺市ビック、ユーにて紀南環境フォーラム‘06に世界中に木を植えてきた宮脇昭先生の講演があるとのことで参加しました。それまでにNHKラジオ第2で、‘05年10月から‘06年3月まで25回教育テレビでもあり、だいたい聴いたり、テレビを見たりしておりましたが、直接講演に接して、土地本来の木、又45度のところでも立派に根が張っていく、感動しました。（北村 道夫）

《今後の活動予定》

◎は定例、●は臨時、△はイベント、▼は任意活動

- ◎4月16日（日） 定例活動日 a.m.9:00～ 2006年度総会 & 演習林作業
 - ・ a.m. 9:00～12:00 2006年度総会 於杉村公園 松林荘
 - ・ p.m.13:00～15:00 山内演習林作業（下刈り、山道作り等）※ 作業の出来る服装でご参加下さい。 ※ 昼食はご持参下さい。
- 4月23日（日） 臨時活動日 a.m.9:00～ 於芋谷棚田
 - ・ 下の田で粃種の直播作業 ・ 中の畑で耕耘機の通路作り・畝立て作業 他
- ◎5月21日（日） 定例活動日 a.m.9:00～ 於芋谷棚田
 - ・ サツマイモ苗の植付け ・ 畦草刈り ・ 他
- ◎6月11日（日） 定例活動日（6/18を振替え） a.m.8:30～ 於芋谷棚田
 - ・ 田植え ・ 畦草刈り ・ 他

《事務局だより》

○2006年度総会を開催しますので、万障繰り合わせの上ご出席下さい。（別紙参照）

○2月～3月にかけて2組の方が当会のフィールドを訪問され案内しました。お一人は大阪の方で、お父さんから受け継いだ京都府南丹にある広い山林の手入れを目指されている青年です。当会のホームページを見られて、山の手入れの仕方、ワサビや茸の栽培、山小屋作りなどの参考にさせて頂きたいとのことでした。芋谷・演習林の両方を案内しましたが、ヒノキでのナメコ栽培には特に興味を示されていました。

3月になって、いつも会報を見せて貰っているがまだ現地を知らないのと、伊都振興局林務課の吉野係長と坂口主査が演習林を見に来られました。演習林の今後の発展・充実のための色々な助言を頂きました。

○2005(H17)年度末分まで（～06.3.31.）の会費未納の方は、何らかの方法で総会当日までに納入をお願いします。なお、いろんなご都合で退会される方は、お申し出の時点までの会費をお納め下さい。

○2006(H18)年度分1, 500円は総会当日徴収させていただきます。